



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 主催・主管：(公社) 岩手県サッカー協会、キッズ委員会 各地区
- 運営：地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、父母の方々など
- 対象：少年団・クラブチーム・スクール所属のキッズおよび準ずるキッズ（傷害保険に加入のこと）
- 内容：2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した、「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦に固執せず、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分けして（補欠を作らず4~5人制）、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★4~5人制でボールに関わるシーンが多い
- ★混成チームの中でプレーすることで社会性を養う

盛岡地区 ダイジェスト

夏季の部

2019年5月25日 ~ 11月4日 いわぎんスタジアム

「全7回」 延べ参加人数 1,185名

(幼児 309名、小1 432名、小2 444名)



「幼児クラス」 若手男性2名、女性2名のスタッフが中心となり、楽しく活動できました。





「小1クラス」 各コートのスタッフが、きびしさを持って進行了ました。





「小2クラス」 夏季は団体対抗戦 6 人制でおこないました。(補欠ゼロ精神で人数調整しました)



「ファミリー フットサル大会」 男性 1+女性 1+子供 3 名で対決。父 vs 父、母 vs 母もあり。



盛岡地区 キッズ補欠ゼロリーグ

- 対象団体： 緑が丘、仙北、アントス、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、盛岡中央、グルージャ、雫石、羽場飯岡、大宮、手代森、厨川、イースト、玉山、OGASA、向中野、Grows、大新、YMCA、矢巾、南公園、AOBA、県協会エリート盛岡スクール、県協会月が丘スクール
- 運営本部： 大久保 和志（盛岡市協会キッズ委員長・月が丘）
石山 信三（盛岡市協会キッズ委員・山岸）
吉田 隆一（事務局代行・山岸）
鎌澤 和之（県協会）
- 協力： 青山サッカー少年団（冬季・幼児の部 開催会場の確保等）
- 協賛： シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）



●担当責任者コメント

昨年 5 月から開催した「夏季の部」には延べ人数 1,185 名の参加があり、幼児・小 1・小 2 に分かれてゲームを楽しみました。熱中症防止のため、各コートの指導者、引率の父母等にも子供たち全員をよく見ていただき、注意を払いました。子供たち全員、全身汗だくになりながらもボールを追いかけて楽しみ、2 年生ともなればゲームを組み立てる子、声を出して鼓舞する子など、将来が楽しみな子供がたくさんおりました。

一方、幼児の部では、まだお父さんお母さんを探している子供がおりました。そんな幼児も、青山小学校で開催された「冬季の部」の頃にはお友達も出来て、自然に「よっ！」と声が出て、子供同士で遊べるように成長しており、大変うれしく思っています。

今年度も「白石食品」さんから、子供たちが大好きなホイップメロンパン、ネオトースト等「シライシパン」の提供を受け、参加者全員に差し上げております。

残りあと 2 回の開催日、そして新年度の補欠ゼロリーグに参加希望の方は、お近くのスポーツ少年団又はクラブチームにお問い合わせいただき、どしどしご参加ください。お待ち申し上げます。

盛岡地区 補欠ゼロリーグ 担当： 大久保 和志

（撮影編集：鎌澤）

